

(参考)調査項目と病院の負担に関するアンケート調査

○アンケートを依頼、回答した病院

調査進捗の状況	依頼病院数	回答病院数(病院名)
調査票を順調に提出した病院	4	2 (A・B)
調査票の提出に時間を要した病院	4	2 (C・D)
部門別収支が算定できなかった病院(ただし、大半の調査票は作成済)	3	1 (E)

上記のとおり対象病院を3つに分け、その中から無作為抽出でアンケート用紙を送付した。

○病院別の回答内容

調査名	データ項目	提出までの作成状況(アルファベットは回答病院名)				自由記入欄(作業負担等) (アルファベットは回答病院名)
		既存のデータをそのまま利用	既存のデータを加工して利用	別途病院内で調査し、新たに作成	最終的に作成出来なかった	
レセプト調査	レセプトデータ・Eファイル (DPC対象病院はDファイルも含む)	A B C	D E			
部門設定調査	病棟・標榜診療科とレセプト診療科の対応、その他の部署の分類	B	A E	C D		C:通常は内科、外科、小児科で区分している。
収支状況調査 ①-2	病棟別延べ入院患者数	A B C	D E			
①-3	診療科別延べ外来患者数	A B C	D E			
①-4	1ヶ月分、1年分の損益計算書		A C D E	B		
①-5	1ヶ月分の職種別人数総計と給与総額	C	A E	B D		
②-1	診療科・部署別の保険外収益		A C	B D E		A:中央部門別の収益を出すことは負担が大きすぎる。 E:調査用に整理するのが負担。
②-2	中央診療部門の保険外収益の診療科への対応づけ			A B C E		A:中央部門別の収益を出すことは負担が大きすぎる。 C:非常に困難であった。 D:該当なし。
③	医師以外の職種別職員数 (病棟・診療科・中央診療部門等)		A C	B D E		
③	延べ床面積	B	A C D E			C:部門別の詳細な延べ床面積は把握できず、困難であった。
実施場所調査	手術の実施場所の割合	C	A D	B E		
	検査の実施場所の割合		A C D	B E		A:検査の実施場所が、採血をした場所、検査の依頼をかけた部署、検査を実施している場所(委託先)の、どれを指しているのかがわからない。また、一枚のシートでこれら複数の情報を入手しようとしているような作りも、わかりにくかった。
	画像診断の実施場所の割合	C	A D	B E		
医師勤務調査	医師個人の月給	C	A D	B E		
	医師の勤務時間割合		A C	B D E		A:勤務時間割合はデータを提供、収集する人間の主観によって数値が変わってしまうので、負担の大小以前に時間をかけることそのものももったいなく感じてしまう。 D:病棟外来等の把握はできていないので手間がかかった。 E:人数が多いので非常に負担。

(参考) 平成20年度医療機関の部門別収支に関する調査の実績

調査対象とする病院の目標数	140病院
調査参加を依頼した病院数	597病院
うち、当初依頼病院数	348病院
うち、追加依頼病院数	249病院
参加応諾した病院数	190病院
うち、途中で脱落した病院数	63病院
最後まで調査に参加した病院数	127病院
	（うち D P C対象病院91病院 D P C準備病院36病院）